



ごちそう様でし

沙貴

トマトが
残っているぞ



好き嫌いをしては
いけないと常々
言っているだろう

はあい



.....



まが!



沙貴



行ってきます



それから
……

——あのね
おじさん



ハンカチは
持ったか？
財布は？

忘れものは
ないな？

今日は何時に
戻ってくる？

ちゃんと電話
入れるんだぞ



む…

しかし



オレもう
小学生じゃ
ないんだからさ

毎朝毎朝同じこと
言わなくても
わかっているって



私は亡くなった姉さんに
約束したんだ

遺されたお前を
立派に育てることを

…もう十年も前に
なるが約束を忘れた
ことは一日もない

姉さんの為にも
私は――

わかってる
わかってるって

感謝してるよ
夏生おじさん



オレ…おじさんの
望むようないい子に
育ってるだろ？

…そうだな

時々憎まれ口は
きくけど

素直で可愛い
自慢の甥だよ

でしょ？

心配しなくても
大丈夫だって



気をつけてな

いってきまーす



素直で可愛い…ね

……



なーんにも
気づいてない
んだから

ちよろいもん
だよ



オレには

秘密が
ある



おじさんには
絶対言えない
秘密